

歴史書

5

2011
No. 195



通信

陵墓をめぐる事ども／外池 昇

歴史書新刊ニュース〈3・4月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈3・4月〉

2011年歴史書ベストフェア出品／参加書店一覧

歴史書懇話会

陵墓をめぐる事ども

— 齊明天皇陵と応神天皇陵 —

外池 昇

(成城大学文芸学部教授)

昨年9月の牽牛子塚古墳けんぎょこづか(奈良県明日香村)発掘調査について各紙は同月10日付で報じ、「齊明天皇陵特定／飛鳥後期特有の八角形」(『読売新聞』)等の見出しが一面に躍った。宮内庁が管理する齊明天皇陵(車木ケンノウ塚、奈良県高取町)を間違いとするものである。その主な根拠は、同古墳が天皇陵に特有の八角形であること、巨石による構造が齊明天皇陵に相応しいということである。またそのちょうど2ヶ月後の12月10日付の各紙は、今度は「『齊明天皇陵』前に中大兄皇子の娘／日本書紀通り新古墳」(『東京新聞』)等の見出しで、牽牛子塚古墳に接する新古墳(越塚御門古墳)の発見と、その被葬者が齊明天皇の孫、天智天皇の娘に当たる大田皇女と考えられることを報じた。

各紙には、宮内庁による陵墓比定や管理に疑問を呈する記事が溢れた(『齊明陵』前孫娘の墓／牽牛子塚調査日本書紀と一致／宮内庁指定見直し迫る」(『毎日新聞』12月10日付)等)。私も機会を得て各紙に稿を寄せ(『学術的発掘を厭うな』(『高知新聞』12月15日付)等)、宮内庁は自らの責任として発掘を含む学術調査をなすべきことを論じた。宮内庁の

対応は墓誌が出ない限り比定は改めないというもので、十年一日というのはとくに通り越して官僚組織の鉄の如き意思を感じさせる。

と、ここまでならいつも通りの二律背反の構図でとてもわかり易い。しかし今回の動向には、これまでの構図からしてやや突っ込んだものがみられた。

『日経新聞』11月27日付は「古代史解明の鍵／『陵墓公開を』強まる声」との記事で、学界の意見と宮内庁の立場を対比させた。後者については、専ら宮内庁の陵墓調査官福尾正彦氏への取材による。この関連記事が「宮内庁調査官が明かす『896の聖域』天皇陵の真実」として「電子版ライブ」にある。記者は奈良支局長竹内義治氏である。

「昔は陵墓に立ち入る際、事前に魂を抜いて鳥と同様になる儀式を行ったそうだが」との問いに「戦前は背中に羽根をつけ、カラスの格好をしたそうです。現在は立ち入る前に拝礼はしますが、儀式や仮装まではしません。ただ心の中では同様のことを行っています」と、「宮内庁には『もし指定が誤っていても、祭祀を執り行っているところに御霊が移ってくる』との考えがあると聞く。本当

か」との問いに「そんな考え方はしていません。研究者が著した本にそう書いてあるため調べたことがありますが、本当にそんな発言があったのか、確認できませんでした」とする。

「カラスの格好」とは驚いたものである。また、「御霊が移ってくる」との考え方は福尾氏によって否定されたが、これは少なくとも祭祀との関係において、陵墓の比定が間違いであるとか改められるとかいうことは全く考えてもいないことのあらわれでもある。明治以降の陵墓の祭祀・管理の理念については既に著した(拙著『天皇陵論』[2007年7月、新人物往来社]、拙著「大正十五年『皇室陵墓令』成立の経緯」[歴史学会『史潮』新63号、2008年5月])が、その実態となるとな明らかではない。ただ聖域とされ祭祀が厳修されていたというだけでは、例えばこの「カラスの格好」についても理屈や観念の上でしか捉えようがないのである。

さて各紙には牽牛子塚古墳の被葬者を斉明天皇とするコメントが多く載せられているが、いずれも考古学者によるものである。しかし被葬者の名については、本質的には古代史を中心とした文献史学の立場から論じられるべきではないか。なぜなら古墳から被葬者の名を刻した墓誌は出土せず、被葬者の名は文献以外に求め得ないからである。

次には応神天皇陵(誉田御廟山古墳、大阪府羽曳野市)をめぐるである。応神天皇陵についてはその歴

史的経緯を「応神天皇陵」として鶴岡八幡宮『悠久』第121号特集「応神天皇千七百年祭」(平成22年8月、おうふう)に著した。

今年の2月20日付各紙は、応神天皇陵前方部に巨大な土壇が確認されたとの記事(『応神陵』08年調査で証言/前方部に巨大土壇/血縁者も埋葬か)〔『東京』2月20日付〕等)を載せた。これは、宮内庁陵墓管理委員会(考古学者ら8人)が平成20年秋に整備計画検討のため応神天皇陵の墳丘内に立ち入り調査をした際に土壇が確認されたことを報じたもので、陵墓管理委員である神戸山手大学教授河上邦彦氏の「保存状態は極めて良く、未盗掘の可能性もある」とのコメントを載せる。宮内庁書陵部『書陵部紀要』第61号(平成22年3月)の「彙報」は「陵墓管理委員会」が平成20年11月26・27日に大阪で現地視察したとしており、土壇の観察はこの際のものであろう。陵墓管理委員会の内容がマスコミによって報じられることは極めて珍しく、それだけに大変貴重な記事である。

次には、2月24日の日本考古学協会等考古学・歴史学関連学会による応神天皇陵への立ち入り調査である。『産経』2月24日付は「応神天皇陵/きょう調査/明治以降初の民間立ち入り」と報じたが、発掘は勿論立ち入りも墳丘ではなく堤に止まるもので、当初から「成果は限定的になる見通し」(『産経新聞』同日付)との観測があった。その内容はいずれ学会誌に掲載されようが、紙面に

みる限りその成果は「(堤の埴輪列は)巨大古墳の威容を示すためだろう」(奈良県立橿原考古学研究所総括研究員今尾文昭氏、『東京新聞』2月25日付)、「堤がこんなにもきれいな状態で残っているのは非常に珍しい」(日本考古学協会理事山田邦和氏、『産経新聞』2月25日付)というものであった。

それに、「明治以降初の民間立ち入り」というのは間違いである。「終戦直後における陵墓をめぐる動向」(成城大学文芸学部『成城文芸』第209号、2009年12月)として著したが、昭和24年8月30日に宮内庁は日本考古学協会に条件付で陵墓の立ち入りを承認し、これに基づく立ち入りによる緻密な観察に基づく記述が梅原未治著「応神・仁徳・履中三天皇陵の規模と営造」(『書陵部紀要』第5号〔宮内庁書陵部、昭和30年3月〕)にある。例えば堤については「いまなほ所々の地表面に埴輪円筒が恰も輪のやうに上面を露出してゐて、圍繞の實際が認められる。尤もその頸はれてゐるのは部分的で、すべてに互つてゐないので全貌を確めるに欠けるところがある」等と、墳丘については「葺石は拳大よりもやや小さ

な川石を密に一尺位の厚さに敷き固めてあるやうで、今も可なり原形をのこしてゐる」等とある。

さらにいえば、『朝日新聞』(大阪)平成22年5月25日付(asahi.comによる)は「闘病の調査員／励ますヒメボタルの光」との記事を載せ、多発性骨髄炎を患う府自然環境保全員の福田裕氏が平成19年に宮内庁への申請を経て応神天皇陵の森でヒメボタルを調査したこと、平成22年5月にも同氏から引き継いだ調査員がヒメボタルを確認したことを報じた。応神天皇陵に眼を向けるのは何も考古学研究者や歴史学研究者に限ったことではない。

古墳の発掘調査や関連学協会の運動によって問題の解決へ向けて歩が進められているようにみえる。しかし、陵墓をめぐる問題はそう簡単ではない。多岐に及んで捉え所がなく、また学問的に未開拓な部分が多に多い。ともあれ、官僚組織や関連学会のみならず、広く社会一般によって陵墓をめぐる議論が盛んになされることを願ってやまない。

(表紙写真) 空から見た応神天皇陵

新刊ニュース

3・4月発行図書 *発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典/年表・地図/歴史学・補助学

日本の食文化史年表

江原絢子・東四柳祥子編

菊形 432頁 5,250円

吉川弘文館〔4月刊〕

今日までの3万年間、日本人は何を食べてきたのか。生産・飢饉・事件などあらゆる事項を網羅。楽しみながら日本の“食”を理解する。 978-4-642-01459-5

新編博物館概論

鷹野光行他編

A5判 320頁 3,150円

同成社〔3月刊〕

古今東西の博物館の歴史と現状を丁寧に分析。博物館学の目的や方法、学芸員の役割に関する論考も盛り込んだ博物館学教科書の最新版。 978-4-88621-555-0

生まれる歴史、創られる歴史

アジア・アフリカ史研究の最前線から

永原陽子編

A5判 240頁 3,045円

刀水書房〔3月刊〕

アジア・アフリカの固有の言語で書き残された文書や、体験者の記憶など、多様な史料を用いて、「歴史」がどのようにとらえられ描かれてきたかについて語られる。 978-4-88708-397-4

考古学

概論・通史/日本/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/その他

講座日本の考古学5巻 弥生時代上巻

講座日本の考古学

甲本真之・寺沢薫編

A5判 650頁 7,350円

青木書店〔4月刊〕

弥生時代の研究史を概観しその背景と研究の到達点を示し、弥生時代とは何か、弥生文化とは何か、具体的な時間軸空間軸を検討する。 978-4-250-21104-1

祭りと言術の考古学

春成秀爾著

B5判 586頁 19,950円

塙書房〔3月刊〕

①農耕儀礼の始まり②農耕儀礼と青銅器③弥生時代の儀礼・呪術と東アジア④埴輪の起源と古墳祭祀にて、弥生時代の農耕・葬送等の祭り、辟邪の呪術等を中心に考察。 978-4-8273-1241-6

宮都 飛鳥

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館編

A5判 240頁 3,360円

学生社〔3月刊〕

日・中・韓の研究者が飛鳥京跡からわかる京・宮・苑池の姿、出土した木簡の語るもの、隋・唐・百済の都城制など、東アジアの古代史の謎に迫る。 978-4-311-30079-0

古代日本 謎の四世紀

上垣外憲一著

四六判 280頁 2,520円

学生社〔3月刊〕

神武天皇とその妻、欠史八代の各天皇と崇神天皇までの謎を、銅鏡山と鏡の製造、青銅鏡は国産か、古代の鉱山と朱や鉄の交易などから解明する。 978-4-311-20341-1

若狭・越古墳時代の研究

入江文敏著

A5判 464頁 10,290円

学生社〔3月刊〕

若狭・越地方の古墳および出土遺物の研究から、日本海地域の製塩など生活の実態と大和政権との関係、朝鮮半島・中国との文化交流の実態を解明する。 978-4-311-30498-9

飛鳥の都市計画 (仮)

黒崎 直著

四六判 230頁 2,625円

同成社〔4月刊〕

古代の都、飛鳥地方を中心に、従来の研究を綿密に検討し、発掘成果からわかってきたその都市計画の有り様を、わかりやすく解説する。 978-4-88621-558-1

日本考古学の現在

市民の考古学 9

山岸良二著

四六判 190頁 予価1,890円

同成社〔4月刊〕

日本考古学において現在どのようなテーマを重点に研究が進められているか、旧石器～近代の各時代について簡潔平易に解説する。 978-4-88621-563-5

古墳

歴史文化ライブラリー319

土生田純之著

四六判 238頁 1,785円

吉川弘文館〔4月刊〕

構造や葬送儀礼から古墳をつくった集団を探り、在地社会の政治構造を検討。渡来人との関わりや国家形成など、古墳築造の背景に迫る。 978-4-642-05719-6

古墳時代の王権構造

下垣仁志著

B 5判 432頁 19,950円

吉川弘文館〔3月刊〕

銅鏡・古墳群などの考古資料の多層的な分析から、古代国家形成期の社会構造を検討。倭王権構造の特質と変容過程を追究した意欲作。 978-4-642-09321-7

高句麗壁画と東アジア

東 潮著

A 5判 400頁 9,450円

学生社〔4月刊〕

高句麗や中国の漢・隋唐の壁画壇・王陵の墓主図像、四神・十二支像、昇仙思想の系譜とキトラ古墳・高松塚古墳と東アジアの文化環境を詳しく説く。 978-4-311-30497-2

ベトナムの考古・古代学

西村昌也著

B 5判 380頁 13,650円

同成社〔3月刊〕

長年ベトナム現地でも考古研究に邁進してきた著者が、考古学を基盤に古代学などを学際的に援用しつつ、ベトナムの歴史を再構築する。 978-4-88621-556-7

中米の初期文明オルメカ

世界の考古学24

伊藤伸幸著

四六判 250頁 2,520円

同成社〔4月刊〕

中米の古代文明の母体ともいべきオルメカ文明について、地域性、年代性、文化の特徴、他の文明との関係性等を簡潔に語った概説書。 978-4-88621-544-4

日本史

概論・通史/史料/古代/中世/近世/近代/現代/地方史

都市の比較史

年報都市史研究18

都市史研究会編

A 5判 184頁 予価3,800円 山川出版社〔4月刊〕

2009年のシンポジウム「伝統都市の比較史」の内容を特集として収録するほか、論文・研究ノート・新刊紹介・ラウンドテーブルなどを掲載。 978-4-634-52746-1

律令国家と東アジア

日本の対外関係 2

荒野泰典・石井正敏・村井章介編

A 5判 340頁 6,300円 吉川弘文館〔4月刊〕

朝鮮三国の動乱と倭国・日本への影響、律令国家成立と華夷思想の形成、遣唐使の活躍、都城制の展開など、激動の東アジア世界を描く。 978-4-642-01702-2

近代化する日本

日本の対外関係 7

荒野泰典・石井正敏・村井章介編

A 5判 360頁 6,300円 吉川弘文館〔4月刊〕

条約・文化・貿易などの局面であたらしい価値観に直面し、欧米列強の「外圧」から近代的再編を成し遂げた、「開港」後の日本を描く。 978-4-642-01707-7

地域開発と村落景観の歴史的展開

多摩川中流域を中心に

原田信男編

A 5判 494頁 9,450円

思文閣出版〔3月刊〕

考古遺跡・遺物・村絵図・地方文書等を手がかりに、開発と景観という点から、人の営みと環境の変遷を通史的に論じる。

978-4-7842-1555-3

九条家本延喜式 (一)

東京国立博物館古典籍叢刊

東京国立博物館古典籍叢刊編集委員会編

A 5判 460頁 15,750円

思文閣出版〔4月刊〕

九条家本延喜式は、『延喜式』全50巻中28巻を伝え、その紙背に多数の古文書を残す最重要写本。全冊を影印で刊行。全5巻のうちの第1巻。978-4-7842-1535-5

読みくらべ日本の神話

神々の異聞録

福田智宏著

四六判 192頁 1,470円

新人物往来社〔1月刊〕

古事記・日本書紀・諸国風土記・古語拾遺・万葉集・祝詞…神々の性格、ストーリーの構造はなぜこんなに違うのか？ 日本神話の諸相を探る1冊。978-4-404-03961-3

戦国遺文 今川氏編 第2巻

第2回配本 (全4巻)

久保田昌希・大石泰史編

A 5判 366頁 17,850円

東京堂出版〔3月刊〕

東海地方の有力戦国大名である今川氏の発給文書・受給文書・関連文書など2500通を編年順に収録する。本巻には、天文16年～永祿3年までを取めた。978-4-490-30660-6

戦国遺文 房総編 第2巻

第2回配本 (全4巻)

黒田基樹・佐藤博信・滝川恒昭・盛本昌広編

A 5判 320頁 17,850円

東京堂出版〔4月刊〕

戦国時代の上総・下総・安房に関わる史料を網羅。第2巻には天文8年から天正元年までの文書・棟札など、約800通を収録した。978-4-490-30675-0

現代語訳 吾妻鏡10

御成敗目録

五味文彦・本郷和人・西田友広編

四六判 288頁 2,520円

吉川弘文館〔4月刊〕

天災に幕府運営と、奮闘努力する北条泰時の主導のもとに花開く執権政治。そして泰時の孫経時ら次代をになう若者たちが元服を迎える。978-4-642-02717-5

記紀皇統譜の基礎的研究

荊木美行著

A 4判 234頁 4,200円

汲古書院〔3月刊〕

『古事記』と『日本書紀』の「記紀」共通系譜の異同を明らかにし、古代皇統譜研究に新たな資料を提供する。わかりやすく比較・対照できる豎系図を収録。978-4-47629-4209-9

ヤマト政権誕生と大丹波王国

国宝「海部氏系図」が古代史を書き換える

伴とし子著

四六判 208頁 1,890円

新人物往来社〔1月刊〕

国宝「海部氏系図」で再現された古代史像は、「記紀」の定説を覆す驚愕の内容だった！古代にあった大丹波王国とヤマト政権との関係、卑弥呼の存在、祖神豊受大神の存在など、「古事記」「日本書紀」からは解けない日本古代史の謎に迫る！978-4-404-03968-2

よくわかる 古代ニッポンの全体像

知識ゼロから学ぶ日本史の原点

木下正史著

四六判 320頁 1,890円

新人物往来社〔2月刊〕

旧石器時代から平城京まで、日本の古代のすべてがわかる。邪馬台国論争、旧石器捏造事件、炭素14年代測定法、牽牛子塚古墳発掘など、古代史好きなら誰もが気になるトピックも詳しく解説！最高の入門書にして、最新の決定版通史。978-4-404-03909-5

交響する古代

東アジアの中の日本

石川日出志・日向一雅・吉村武彦編

菊判 470頁 7,875円

東京堂出版〔3月刊〕

昨年11月に明治大学で開催されたシンポジウムの発表記録をもとに、日本・中国・韓国・アメリカ・オーストラリアの研究者24名が書き下ろした論考集。978-4-490-20730-9

蘇我氏とは何か

前田晴人著

四六判 208頁 2,100円

同成社〔4月刊〕

古代の大豪族蘇我氏の出自や本拠地を究明することにより、日本書紀によって逆賊とされた蘇我本宗家の権力者としての実像解明に迫る。978-4-88621-557-4

平城宮大極殿院の設計思想

内田和伸著

B 5判 368頁 16,800円 吉川弘文館〔3月刊〕

平城宮の中心であり国家的儀礼の場であった大極殿と大極殿院。その空間構成と背景にある思想を、古代中国の天文学から解明する。

978-4-642-02480-8

奥州藤原三代—北方の覇者から平泉幕府構想へ—

日本史リブレット人23

佐藤利男著

A 5変型判 100頁 840円 山川出版社〔4月刊〕

近年の研究で認識が一変した奥州藤原氏と平泉の世界を訪ねる。

978-4-634-54823-7

『鎌倉遺文』の研究

瀬野精一郎著

A 5判 300頁 予価8,925円 東京堂出版〔4月刊〕

『鎌倉遺文』が中世史研究に果たした役割は計りしれない。著者はさらなる研究の進展をめざし、本史料集利用者に貴重な提言と問題提起をおこなった。

978-4-490-20732-3

中世社会の刑罰と法観念

渡邊 俊著

A 5判 288頁 10,500円 吉川弘文館〔4月刊〕

検非違使庁による罪人の拘禁・追放や財産没収の実態から社会構造を追究。刑罰執行の基盤「減罪生善」思想に注目し、法観念を解明。

978-4-642-02899-8

中世朝廷の官司制度

遠藤珠紀著

A 5判 350頁 13,650円 吉川弘文館〔4月刊〕

実務役の下級官人層の動向に注目し、近年研究が深化する中世の官司を検討。朝廷制度の特質から「国家」について考察し、実像に迫る。

978-4-642-02900-1

織豊期王権論

歴史科学叢書

堀 新著

A 5判 380頁 10,500円 校倉書房〔3月刊〕

織田・豊臣権力と天皇・朝廷との関係は、対立・緊張であったのか、それとも従属または協調であったのか、信長の国家構想や官位制度への対応を論考。

978-4-7517-42907

戦国・織豊期の朝廷と公家社会

歴史科学叢書

神田裕理著

A 5判 520頁 12,600円 校倉書房〔4月刊〕

国家支配・政治過程における天皇・公家がつ役割・機能を分析し、信長・秀吉の武家権力との関係をどのように構築していったか、朝廷側の視点から検討。

978-4-7517-4300-3

戦国期権力佐竹氏の研究

佐々木倫朗著

A 5判 320頁 6,090円 思文閣出版〔4月刊〕

戦国期佐竹氏の権力形成過程、一族衆の活動の分析、地域社会との関わりを考察することにより、佐竹氏の権力編成のあり方を解明する。

978-4-7842-1569-0

戦国武将の肖像画

二木謙一・須藤茂樹著

A 5判 160頁 1,890円 新人物往来社〔1月刊〕

戦国武将の肖像画には、「生前に描かれた絵」「晴れ舞台である東帯姿」「鎧姿」「騎馬姿」など様々なタイプがある。これらの絵に隠された武将達の性格や好み、イメージを明らかにする一冊。

978-4-404-03963-7

日本女性史研究文献目録 1868—2002

CD-ROM版

女性史総合研究会編

A 5判 160頁 26,250円 東京大学出版会〔4月刊〕

『日本女性史研究文献目録』既刊4冊のデータに加え、2002年までのリストを追加。計24000件の文献をデジタルデータとして提供する。近現代、20世紀の女性史研究の全体像を俯瞰し、その展望と未来を見通す手がかりとなる。

978-4-13-026251-4

能楽からみた中世

脇田晴子著

A 5判 308頁 6,090円 東京大学出版会〔4月刊〕

地域のなかで演じられていた芸能が、社会全体に浸透するまでにいたった背景を、作品の内容や芸能者を輩出した座の構造から明らかにする。日本中世史学の第一人者による待望の能楽論。

978-4-13-020148-3

後白河院 一王の歌—

五味文彦著

四六判 予272頁 予価1,890円 山川出版社〔3月刊〕

現代風の歌謡であった今様を通じて、後白河院の政治的立場や女院との関係に迫り、波乱に満ちた物語を解き明かす。

978-4-634-15014-0

武田信玄と毛利元就—思いがけない巨大な勢力圏—

日本史リブレット人43

鴨川達夫著

A 5 変型判 96頁 840円 山川出版社〔4月刊〕

当時の手紙や書類などを適切に読み込み、冷静な目で武田信玄と毛利元就の実像を見直す。

978-4-634-54843-5

京を支配する山法師たち

中世延暦寺の富と力

下坂 守著

四六判 256頁 2,835円 吉川弘文館〔4月刊〕

延暦寺が力と富を持ち得たのはなぜか。室町幕府に政治改革を迫り、戦乱を生き抜いた寺僧たちの姿から世俗権力延暦寺の実態を解明。

978-4-642-08055-2

朝鮮通信使の足跡

日朝関係史論

仲尾 宏著

四六判 288頁 3,150円 明石書店〔3月刊〕

秀吉による朝鮮侵略で生じた被虜人の帰還を課題としてはじまった近世朝鮮通信使が、植民地支配精算、拉致問題に投げかける問題とは。

978-4-7503-3354-0

中近世農業史の再解釈

『清良記』の研究

伏見元嘉著

A 5 判 430頁 8,190円 思文閣出版〔4月刊〕

伊予国の戦国武将土居清良の一代記『清良記』第七巻は「我が国最古の農書」と評される。その分析から、中世～近世の過渡期における農業史について再考する。

978-4-7842-1562-1

徳川秀忠

江が支えた2代目将軍

福田千鶴著

四六判 192頁 1,470円 新人物往來社〔2月刊〕

戦国から泰平の世へ。のち400年続く江戸幕府の基礎を固め、2代将軍としての重責をまっとうした徳川秀忠。江をはじめ、さまざまな人々に支えられた秀忠の生涯を丁寧に読み解く。

978-4-404-03980-4

武士の評判記

『よしの冊子』にみる江戸役人の通信簿

山本博文著

四六判 192頁 1,470円 新人物往來社〔2月刊〕

老中松平定信が自ら陣頭指揮して、隠密たちに集めさせた情報報告書「よしの冊子」。当時の生の情報をもとに役人達の生態を明らかにする！面白くてためになる、江戸時代のお役人事情。

978-4-404-03981-1

江戸の寺社めぐり

鎌倉・江ノ島・お伊勢さん 歴史文化ライブラリー-320

原 淳一郎著

四六判 200頁 1,785円 吉川弘文館〔4月刊〕

参拝のために故郷を後にした庶民の覚悟。文人層の修養と名所めぐりの旅。行動文化の視点から、旅の大衆化が進む江戸時代を探訪する。

978-4-642-05720-2

近代日本と地域振興

京都府の近代

高久嶺之介著

A 5 判 368頁 6,825円 思文閣出版〔4月刊〕

京都府下の道路・運河開鑿や観光資源・開拓村をテーマに政治行政史と社会史を組み合わせて、近代日本の地域社会を地域振興の視点から描く。

978-4-7842-1570-6

西郷隆盛と幕末維新の政局

家近良樹著

A 5 判 380頁 5,250円 ミネルヴァ書房〔4月刊〕

西郷隆盛の実像はいかなるものか。本書では、従来注目されなかった西郷の体調不良に関心を払い、征韓論政変に至った背景を探る。

978-4-623-06006-1

華族令嬢たちの大正・昭和

華族史料研究会編

四六判 224頁 2,940円 吉川弘文館〔4月刊〕

4人の旧華族女性の証言をもとに、伝統とモダンに彩られた華族の暮らしや文化を活写。追憶の中から激動の時代が浮かび上がる。

978-4-642-08054-5

明石元二郎大佐

日露インテリジェンス戦争を制した天才情報参謀
前坂俊之著
四六判 304頁 1,680円 新人物往来社〔1月刊〕

日露戦争時、陸軍参謀本部より密命をうけた明石元二郎大佐は、全ヨーロッパをまたにかけた秘密工作で日本勝利の重要な一因をなした。明石の遺稿『落花流水』をもとに、その謀略工作の全容に迫る！ 978-4-404-03964-4

総図解 よくわかる 第二次世界大戦

倉山満・鍛冶俊樹著
四六判 288頁 1,470円 新人物往来社〔2月刊〕

総図解シリーズ。未曾有の戦禍をもたらした第二次世界大戦。世界が総力を尽くして戦った死闘の全てを、豊富な図解イラストとともにわかりやすく解説。 978-4-404-03977-4

満洲帝国史

「新天地」に夢を託した人々
太田尚樹著
四六判 192頁 1,470円 新人物往来社〔2月刊〕

満洲国建国の牽引力となった石原莞爾・板垣征四郎らと、産業立国建設の先頭に立った岸信介をはじめとする「二キンスケ」、満映理事長甘粕正彦など、夢舞台「幻の満洲」にその夢を託した人々の足跡を追う。 978-4-404-03976-7

歴史教育から「社会科」へ

現場からの問い
君島和彦編
A 5判 296頁 2,625円 東京堂出版〔3月刊〕

歴史教育・社会科教育に携わる現場教師による実践レポート。「社会教育」のなかの歴史学習や戦争史・現代史実践教育に関する17論稿を集める。 978-4-490-20729-3

地域別の日本史

菅野祐孝著
四六判 292頁 1,785円 学生社〔4月刊〕

高校教科書で扱わない、各地方ごとの古代から現代までの歴史を概観する。祭りや郷土料理等も紹介し、高校生から社会人まで地元史に親しめる概説書。 978-4-311-20339-8

知多半島の歴史と現在 15

日本福祉大学知多半島総合研究所編
A 5判 332頁 3,150円 校倉書房〔3月刊〕

内田フミ子聞き書き (小泉和子)、松本久三郎船幸生丸の積荷 (鈴木えりも)、家財を活かしてくらしを伝える (林泰州)、雨乞い祈願のかたち (河合克己)、ほか。 978-4-7517-9015-1

近代の産業遺産をたずねる

(財)日本修学旅行協会編
B 6変型判 192頁 1,575円 山川出版社〔3月刊〕

今日の日本の礎ともいえる近代産業。近年、注目を集め始めているおもな全国の「近代産業遺産」について、概略的に学ぶことができる一冊。 978-4-634-59069-4

世界史

概論・通史/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/オセアニア

人種差別の世界史

白人性とは何か? 刀水歴史全書82
藤川隆男著
四六判 270頁 2,415円 刀水書房〔4月刊〕

時代と共に変化する人間社会、白人性の概念、差別意識を身の回りから考える。「白人とは何か? —ホワイテネス・スタディーズ入門—」の入門書。 978-4-88708-398-1

大学で学ぶ西洋史 [近現代]

小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦編著
A 5判 320頁 2,940円 ミネルヴァ書房〔3月刊〕

西洋世界の15世紀末から現代までの数百年の歴史の歩みを概観した、ひろく歴史を学ぶ読者のための待望の通史。 978-4-623-05938-6

中国の歴史を知るための60章

並木頼壽・杉山文彦編著
四六判 384頁 2,100円 明石書店〔1月刊〕

中国の歴史をアジア全体の中で俯瞰。日中関係の記述を多くして日本史も外から見えるように構成。巻末に詳細なブックガイドを付す。 978-4-7503-3343-4

史記戦国列伝の研究

藤田勝久著

A 5判 312頁 7,350円 汲古書院〔3月刊〕

『史記』の成立とその性格を考古遺跡とフィールド調査による情報を取りいれて明らかにし、司馬遷の歴史観と戦国史を再構築する。

978-4-7629-2888-8

曹操高陵の発見とその意義

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター編

A 5判 170頁 3,150円 汲古書院〔3月刊〕

曹操高陵の発見は2009年12月の報道以来、社会的に大きな注目を集めてきた。豊富な写真と図面資料・中国本土の最新研究から、その実態に迫る。

978-4-7629-2890-1

国旗・国歌・国慶

ナショナリズムとシンボルの中国近代史

小野寺史郎著

A 5判 384頁 6,720円 東京大学出版会〔3月刊〕

近代中国の国家建設期に、ナショナリズムを喚起するために、シンボルはどのように利用されたのか。また民衆はどう受けとめていたのか。国家シンボルが国家にとって重要な役割を果たしたのか、その特徴をさぐる。

978-4-13-026140-1

ドイツ統治下の青島

経済的自由主義と植民地社会秩序

浅田進史著

A 5判 272頁 7,560円 東京大学出版会〔4月刊〕

19世紀末から1914年までの、経済的自由主義を基調としたドイツの青島統治が当時の「東アジア交易システム」のなかで占めた位置を分析し、その植民地社会秩序を新たに描写する。

978-4-13-046106-1

新版 韓国文化史

池 明観著

四六判 608頁 7,350円 明石書店〔2月刊〕

民族発生の神話から李承晩独裁を倒した1960年4月19日の学生革命まで。「未完の革命」という独自の視点から描かれた韓国通史。

978-4-7503-3338-0

露清帝国とカザフ＝ハン国

野田 仁著

A 5判 304頁 7,350円 東京大学出版会〔3月刊〕

ロシアと清朝という大帝国のはざまに位置したカザフ＝ハン国がくりひろげたせめぎ合いと、もたらされた秩序を描く国際関係史。多言語史料を総合的に分析しながら、二つの帝国が辺境統治を試みた領域意識のなかで中央ユーラシア史の見直しをはかる。

978-4-13-026139-5

ギリシアの古代

歴史を学ぶ 刀水歴史全書81

R. オズボン著 佐藤 昇訳

四六判 270頁 2,940円 刀水書房〔4月刊〕

古典期・アレクサンドロス大王登場までの古代ギリシアの歴史が、最新の成果により解き明かされる。ケンブリジ大学での講義から。

978-4-88708-396-7

十字軍全史

聖地をめぐるキリスト教とイスラームの戦い

新人物往来社編

A 5判 144頁 1,890円 新人物往来社〔1月刊〕

キリスト教世界とイスラーム世界が聖地エルサレムをめぐる死闘を繰りひろげた十字軍遠征。およそ200年にわたった戦いを、美しい絵画と風景写真とともに解説。

978-4-404-03962-0

肖像画で読み解く世界の王室物語

ロイヤルファミリー222人が語る王朝興亡史

新人物往来社編

A 5判 192頁 2,100円 新人物往来社〔2月刊〕

ハプスブルク・ロマノフ・ブルボン・オスマン・愛新覚羅の世界5大王家から古代～近現代の各国王室まで、豊富な肖像画や写真とともにオールカラーで紹介。各王家の系図も掲載し、資料的価値も高い一冊です。

978-4-404-03978-1

キューバの歴史

キューバ中学校歴史教科書 先史時代から現代まで

キューバ教育省編 後藤政子訳

A 5判 532頁 5,040円 明石書店〔2月刊〕

キューバの9年生(中学3年生)のためのキューバ史教科書。原始共同体時代から1970年代までを扱う。キューバ革命のみを重視することのない通史。

978-4-7503-3348-9

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

明六雑誌の政治思想

阪谷素と「道理」の挑戦
河野有里著

A 5判 336頁 7,665円 東京大学出版会〔4月刊〕

福澤諭吉とともに語られることが多かった『明六雑誌』を、これまで等閑視されてきた、洋行経験のない儒者、阪谷素（しろし）に焦点を当て、多様な知がせめぎあう場として『明六雑誌』を浮かび上がらせる。978-4-13-036240-5

絵伝にみる 法然上人の生涯

中井真孝著

A 5判 240頁 2,625円 法蔵館〔3月刊〕

浄土宗の宗祖・法然上人の一生を『法然上人行状絵図』を手がかりに読み解く。華麗な絵に丁寧な解説がつくことによって、法然上人の思想と生涯が理解できる。初学者に最適。978-4-8318-6056-9

神仏と儀礼の中世

船田淳一著

A 5判 512頁 7,875円 法蔵館〔3月刊〕

中世寺社における各種の宗教儀礼を手がかりに、仏と神が中世的な信仰形態をいかにして獲得していかを、思想運動のひとつとして多面的に論じ、神仏習合の具体的諸相を明らかにする。978-4-8318-6029-3

大系真宗史料 伝記編 1

親鸞伝
真宗史料刊行会編 塩谷菊美著

A 5判 予500頁 予価10,500円 法蔵館〔4月刊〕

鎌倉時代から江戸時代まで、門徒たちが求める宗祖親鸞の姿を描いた「親鸞伝」を集成。「親鸞聖人御因縁」「高田親鸞聖人正統伝」「親鸞聖人絵詞伝」「近世平太郎伝」ほか。978-4-8318-5051-5

歴史のなかに見る親鸞

平 雅行著

四六判 224頁 1,995円 法蔵館〔3月刊〕

「親鸞」はいかにして誕生したのか。六角堂参籠、玉日姫との婚姻説、善鸞義絶事件など様々な伝承と膨大な研究が存在する親鸞の生涯と思想について史料の検証からその虚実を解明する。978-4-8318-6061-3

四国遍路

さまざまな祈りの世界 歴史文化ライブラリー-318
星野英紀・浅川泰宏著

四六判 224頁 1,785円 吉川弘文館〔3月刊〕

平安時代の起源から平成遍路ブームまでの歴史、遍路する人びとの変遷などを解説。今なお多くの人を魅きつけるその多様な側面に迫る。978-4-642-05718-9

東北古代仏教史研究

佛教学研究叢書11
窪田大介著

A 5判 400頁 8,400円 法蔵館〔3月刊〕

7～9世紀を対象に東北地方における仏教受容のあり方と特色、仏教の果たした役割について考察。978-4-8318-7377-4

もういちど読む山川倫理

小寺 聡著

A 5判 296頁 1,575円 山川出版社〔4月刊〕

高校の倫理教科書を、一般読者のために書き改めた社会人のための教科書。人物紹介、コラム、資料などを設け、倫理の理解に役立たせる。978-4-634-59071-7

戦時下学問の統制と動員

日本学術振興委員会の研究
駒込武・川村肇・奈須恵子編

A 5判 800頁 12,600円 東京大学出版会〔3月刊〕

今日の全国学会への編成の契機ともなった、1936年設置の「日本学術振興委員会」。広い範囲の研究者の言論を統制するために設置されたものだったが、従来知られていなかったその全貌と意味を考えていく。978-4-13-056219-5

ヨーロッパの北の海

北海・バルト海の歴史
D.カービー・M.-L.ヒンカネン著 玉木俊明他訳

A 5判 430頁 6,300円 刀水書房〔4月刊〕

古代から現代まで、北海・バルト海の文化・社会・経済・政治のすべてが語られる。日本における“海事史”(maritime history)の始め！978-4-88708-385-1

メキシコの美の巨星たち

その多彩でユニークな世界
野谷文昭編著

四六判 244頁 1,995円 東京堂出版〔4月刊〕

20世紀メキシコにおける絵画・映画・写真・建築について、歴史的・文化的背景とともに一度見たら忘れられない、その大胆かつ繊細な魅力に迫る一冊。 978-4-490-20731-6

〈日本美術〉の発見

岡倉天心がめざしたもの 歴史文化ライブラリー-317
吉田千鶴子著

四六判 224頁 1,785円 吉川弘文館〔3月刊〕

フェノロサらと関わりつつ、古美術保存活動に献身した岡倉天心。「日本美術」発見にいたったその足跡を、新史料を交えて描き出す。 978-4-642-05717-2

日本仏教版画史論考

内田啓一著

A 5判 352頁 10,500円 法藏館〔3月刊〕

仏・菩薩を板木で摺ったものを印仏という。本書では寺社の開板事情や信仰対象としての版画など、絵画史料を博搜し仏教版画の歴史上での位置づけを試みる。図版120点。 978-4-8318-7648-5

茨木童子の素顔に迫る

大橋忠雄著

A 5判 280頁 2,940円 明石書店〔2月刊〕

そもそも茨木童子はなぜ“イバラキ”童子でなければならないのか。“イバラキ”の謎を解明することによって現れる茨木童子の素顔。 978-4-4-7503-3349-6

民俗学とは何か

柳田・折口・渋沢に学び直す
新谷尚紀著

A 5判 256頁 1,995円 吉川弘文館〔4月刊〕

フォークロアでも文化人類学でもない。柳田國男らの原点確認により「もう一つの歴史学」としての可能性を探った、〈民俗学〉再入門。 978-4-642-08053-8

物部の民俗といざなぎ流

日本歴史民俗叢書
松尾恒一著

A 5判 250頁 7,350円 吉川弘文館〔4月刊〕

病氣治癒・家の神祭祀・祈雨の祈禱が伝わるいざなぎ流の特質を論じる。失われつつある自然への畏れと、その関わり方を問い直す。 978-4-642-07370-7

伝記

対決！ 日本史 VS 世界史

綴じ込みカラー年表付
歴史・年表研究会編

四六判 256頁 1,680円 新人物往來社〔2月刊〕

卑弥呼と曹操、聖徳太子とムハンマドなどなど、あの人はあんな人と同世代だったのか！という驚き盛りだくさんの1冊!! 978-4-404-03982-8

雨森芳洲

互いに欺かず争わず真実を以て交り候
上田正昭著

四六判 210頁 2,625円 ミネルヴァ書房〔4月刊〕

江戸期日本における傑出した思想家・教育者である雨森芳洲。対馬藩藩儒として活躍した彼の先見性とその思想の普遍性を解き明かす。 978-4-623-06032-0

アジアのなかの日本再発見

上田正昭著

四六判 270頁 2,940円 ミネルヴァ書房〔4月刊〕

歴史学のみならず国文学、考古学、民俗学にも精通し、作家、文化人とも深くまじわり、学界を牽引してきた著者による、「生きた歴史」研究の軌跡。 978-4-623-06031-3

岩崎弥太郎

商会之実ハ一家之事業ナリ
武田晴人著

四六判 230頁 2,400円 ミネルヴァ書房〔3月刊〕

三菱財閥の礎を築いた「政商」の生涯を描く。明治維新期の日本の事業活動のあり方の原点を探る試み。 978-4-623-06020-7

島地黙雷伝

村上 護著

B 6判 290頁 2,310円 ミネルヴァ書房〔3月刊〕

本書では、政教分離、信教の自由を主張し、
仏教の再生に尽力した黙雷の生涯を追う。

978-4-623-05845-7

別冊歴史読本51

ウィリアム王子 プリンセス・ダイアナと英国王室

B 5判 144頁 1,575円 新人物往来社〔2月刊〕

【雑誌コード69656-51】現代英国王室に焦点を当て、
“永遠のプリンセス”ダイアナ妃やウィリアム・
ヘンリー両王子はもちろん、宮殿、ファッション、
ジュエリーなどを豊富な写真とともにわかりやすく
紹介します。978-4-404-03651-3

地 理

歴史の旅 太平記の里 新田・足利を歩く

峰岸純夫著

A 5判 174頁 1,995円 吉川弘文館〔3月刊〕

源氏嫡流の系譜を辿り、武士たちを生み出した
風土から歴史のロマンを味わう。詳細な地図
と写真を収めた、歴史散歩のガイドブック。

978-4-642-08052-1

雑 誌

史林 第94巻 第2号

史学研究会（京都大学大学院文学研究科内）発行

A 5判 136頁 1,200円 東京堂出版〔3月刊〕

1916年、史学研究会の機関誌として創刊され、
歴史学・地理学・考古学の総合学術誌として
数々の論考を送り出してきた『史林』が待望の
市販化！ 年6冊。978-4-490-30669-9

城郭史研究 第30号

西ヶ谷恭弘編 日本城郭史学会発行

B 5判 122頁 2,835円 東京堂出版〔2月刊〕

日本城郭史学会の機関紙で年1冊発行。小社
からは19号より発売。城郭に関する論文・調
査報告・各種情報・探訪記など、城郭ファン
にとって必読。978-4-490-30401-5

日本歴史 4月号（第755）＝3月刊
5月号（第756）＝4月刊

日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみ
やすい歴史知識の普及誌として、研究者から
一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

学生・院生 一年間5,000円〔送料込〕

A 5判 146頁 各780円 吉川弘文館〔3・4月刊〕

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2011. 3・4

――青木書店――

均等法二五年と女性労働 分断から連帯へ 女性労働研究55号 女性労働問題研究会編
 A 5判 2,100円 3月

――明石書店――

日本生まれの「正義論」 サンデル「正義論」に欠けているもの 川本 兼著 …四六判 2,310円 2月
 小学校の英語教育 河原俊昭・中村秩祥子編著 …………… A 5判 3,990円 2月
 スペインのガリシアを知るための50章 坂東省次・桑原真夫・浅香武和編著
四六判 2,100円 3月
 アラブ首長国連邦(UAE)を知るための60章 細井 長編著……………四六判 2,100円 3月
 ニューヨーク 変わりゆく街の食文化 食文化年代記2001-2010 松本敏宇著
 A 5判 2,520円 3月

――思文閣出版――

与謝野晶子の「源氏物語礼讃歌」 伊井春樹著……………四六判 1,470円 4月
 与謝野晶子と小林一三 逸翁美術館編 …………… A 4判 1,050円 4月
 田能村竹田基本画譜 宗像健一編著…………… B 4変型判 29,400円 4月
 大本山くろ谷 金戒光明寺 宝物総覧…………… A 4変型判 29,400円 4月

――東京大学出版会――

刑法総論講義 第5版 前田雅英著…………… A 5判 3,990円 3月
 東京大学 知の森が動く 濱田純一著……………四六判 1,890円 3月
 臨床心理学を学ぶ5 コミュニティ・アプローチ 高島克子著…………… A 5判 2,940円 3月
 ディスコミュニケーションの心理学 スレを生きる私たち 山本登志哉・高木光太郎編
 A 5判 5,040円 3月
 大衆化とメリトクラシー 教育選抜をめぐる試験と推薦のパラドクス 中村高康著
 A 5判 4,620円 3月
 少子化時代の家族変容 パートナーシップと出生行動 阿藤誠・西岡八郎・津谷典子・福田亘孝編
 A 5判 5,040円 3月
 世界同時不況と景気循環分析 浅子和美・飯塚信夫・宮川努編…………… A 5判 6,510円 3月
 ギリシア・ヘブライの倫理思想 関根清三著…………… A 5判 3,990円 4月
 講義 民事訴訟 第2版 藤田広美著…………… A 5判 3,990円 4月
 日本の医療 制度と政策 島崎謙治著…………… A 5判 5,040円 4月
 ヘブライ的脱在論 アウシュヴィッツから他者との共生へ 宮本久雄著…………… A 5判 5,250円 4月
 つながる図書館・博物館・文書館 デジタル化時代の知の基盤づくりへ
 石川徹也・根本彰・吉見俊哉編…………… A 5判 4,410円 4月

— 法 藏 館 —

蓮華の瞑想 テイク・ナット・ハン著 池田久代訳 …………… A5判 2,310円 4月

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴懇ニュース

3月11日に発生した東日本大震災により、未曾有の被害がもたらされました。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、安否がまだ不明の方々のご無事をお祈りいたします。現在も救援・復興にご尽力されている大勢の方々に敬意を表しますとともに、われわれも何ができるかを考え、行動してまいります。

……………歴懇フェアのお知らせ……………

●月代わりで、「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを下記の6書店で開催しています

◇TENDO 八文字屋（天童市）／◇東北学院大学土樋店（仙台市）

◇紀伊國屋書店新潟店（新潟市）／◇ブックデポ書楽（さいたま市）

◇芳林堂書店高田馬場店（東京都）／◇今井書店グループセンター店（松江市）

●ジュンク堂書店新宿店「これが歴史書だ！フェア」

第28回目「歴史書懇話会フェア 廃藩置県～大正デモクラシーの時代」

3月16日～5月31日

2011年〔歴史書ベストフェア〕

出品／参加書店一覧

歴史を体感するこの一冊

青木書店

アメリカ・ジェンダー史研究入門 有賀夏紀ほか編	3,675円
知っておきたい中東Ⅰ 歴史教育者協議会編	2,940円
銭貨池 亨編	3,150円
餓死した英霊たち 藤原 彰著	2,625円
由緒の比較史 歴史学研究会編	4,725円

明石書店

若者に伝えたい中国の歴史 歩平ほか著 鈴木博訳	1,890円
若者に伝えたい韓国の歴史 李元淳ほか著 君島和彦ほか訳	1,890円
写真で見る在日コリアンの100年 在日韓人歴史資料館編著	2,940円
F.ベアト写真集1 幕末日本の風景と人びと 横浜開港資料館編	2,940円
F.ベアト写真集2 外国人カメラマンが撮った幕末日本 横浜開港資料館編	2,940円

校倉書房

中世北方の政治と社会 大石直正著	3,990円
村からみた近世 渡辺尚志著	3,990円

学生社

古代史からみた万葉歌 岸 俊男著	2,310円
日本神話を見直す 水野 祐著	2,415円
京都の歴史を足元からさぐる 一丹後・丹波・乙訓の巻一 森 浩一著	2,835円
石ひとすじ 左野勝司著	1,995円
古事記と日本書紀の謎 上田正昭ほか著	1,890円

汲古書院

書生と官員 中野日徹著	2,940円
鄭氏台湾史 林田芳雄著	3,990円
蘭領台湾史 林田芳雄著	4,725円

思文閣

東アジアのなかの日本 上田正昭著	2,520円
みやこの近代 丸山 宏 他編	2,730円
歴史のなかの天皇陵 高木博志 他編	2,625円
緒方洪庵 中田雅博著	2,625円
日本の心と源氏物語 岡野弘彦編	1,890円

新人物往来社

総図解 よくわかる日本史 「歴史読本」編集部編	1,470円
総図解 よくわかる世界史 「歴史読本」編集部編	1,470円
総図解 よくわかる徳川将軍家 「歴史読本」編集部編	1,470円
総図解 よくわかる天皇家の歴史 「歴史読本」編集部編	1,470円
総図解 よくわかる日本の神社 渋谷 申博	1,470円

東京大学出版会

日本政治思想史 十七～十九世紀 渡辺 浩著	3,780円
大人のための近現代史 19世紀編 三谷・並木・月脚編	2,730円
社会学の歴史 奥井智之著	2,100円
日中歴史認識 服部龍二著	3,360円
史学概論 暹塚忠躬著	7,140円

東京堂出版

くずし字解説辞典 普及版 児玉幸多編	2,310円
くずし字用例辞典 普及版 児玉幸多編	6,090円
日本史年表 増補4版 東京学芸大学日本史研究室編	2,730円
古代出雲を知る事典 瀧音能之著	2,625円
伊豆諸島を知る事典 樋口秀司編	2,940円

刀水書房

戦争と人間の歴史 J. キーガン	2,310円
白人とは何か？ 藤川隆男編	2,310円
百年戦争 城戸 剛	3,150円
ハイチの栄光と苦難 浜 忠雄	1,680円
イギリス発見の旅 指 昭博	1,680円

同成社

講談 日本通史 大濱徹也	2,940円
天皇と日本の近代 大濱徹也	1,995円
考古学でつづる日本史 藤本 強	1,890円
考古学でつづる世界史 藤本 強	1,890円
日本史年表・年号ハンドブック 阿部 猛	1,260円

塙書房

国境の植民地・樺太 三木理史著	1,890円
伊勢斎宮と斎王 榎村寛之著	2,415円
柳田國男と成城・沖繩・國學院 高見寛孝著	2,415円
八幡信仰 中野幡能著	1,000円
稲荷信仰 近藤喜博著	1,000円

法 藏 館

誰も書かなかった親鸞 伝絵の真実 同朋大学仏教文化研究所編	2,940円
白山信仰の源流 本郷真紹	2,415円
後醍醐天皇と密教 内田啓一	2,100円
秀吉の大仏造立 河内将芳	2,100円
エロスの国・熊野 町田宗鳳	2,730円

ミネルヴァ書房

50のドラマで知るヨーロッパの歴史 マンフレッド・マイ著	3,150円
西洋の歴史〔近現代編〕増補編 大下尚一編	2,520円
西洋の歴史〔古代・中世編〕山本 茂編	2,520円
オックスフォード ヨーロッパ近代史 T. C. W. ブランニング編著	4,200円

山川出版社

もういちど読む山川日本史 五味文彦・鳥海靖編	1,575円
もういちど読む山川世界史 「世界の歴史」編集委員会	1,575円
詳説日本史研究 特装版 佐藤 信 他編	3,500円
詳説世界史研究 特装版 木下康彦 他編	3,500円
世界史のための人名辞典 水村光男編著	1,575円

吉川弘文館

〇脚だったかもしれない縄文人 谷畑美帆	1,785円
鎌倉大仏の謎 塩澤寛樹	1,890円
博覧会と明治の日本 國 雄行	1,785円
ある文人代官の幕末日記 保田晴男	1,785円
平城京に暮らす 馬場 基	1,890円

2011年歴史書ベストフェア 参加書店一覧

2011年4月1日現在

北海道		吾妻郡中之条町	戸田書店中之条店	新発田市	栄佳堂書店グリーンコート店
千歳市	文教堂書店千歳店	沼田市	戸田書店沼田店	十日町市	ブックス平沢妻有店
稚内市	クラーク書店	埼玉県		三条市	知遊堂
岩手県		さいたま市	板山明文堂西浦和店	新潟市	戸田書店新潟南店
紫波郡紫波町	本のくずおか	さいたま市	ブックデポ書楽	新潟市	知遊堂赤道店
奥州市	松田書店	狭山市	文教堂書店狭山店	小千谷市	宮脇書店小千谷店
秋田県		越谷市	文教堂書店東越谷店	長野県	
秋田市	いけだ書店御所野店	越谷市	竹島書店蒲生店	諏訪市	誠林堂
秋田市	文教堂書店八橋店	児玉郡上里町	文教堂書店本庄店	東筑摩郡山形村	興文堂 i CITY
山形県		川島町	葛屋書店川島インター店	松本市	興文堂
山形市	こまつ書店寿町本店	富士見市	東武新ふじみ野	伊那市	ニシザワいなっせ店
山形市	こまつ書店桜田店	千葉県		小諸市	竹澤書店野岸店
山形市	こまつ書店西田店	鴨川市	すばる書店鴨川店	山梨県	
山形市	こまつ書店鈴川店	佐倉市	文教堂書店ユーカリが丘店	甲府市	朗月堂
米沢市	こまつ書店堀川町店	市川市	文教堂書店行徳店	都留市	都留文科大学生協
米沢市	マツヤブックセンター	市川市	文教堂書店市川店	富山県	
天童市	宮脇書店天童店	成田市	マキノ書店ボンベルタ店	富山市	清明堂堀川店
宮城県		千葉市	文教堂書店小倉台店	富山市	文苑堂書店藤の木店
石巻市	ヤマト屋書店中里店	八街市	文教堂書店八街店	高岡市	文苑堂書店新野村店
福島県		東京都		高岡市	文苑堂福田本店
白河市	文教堂書店新白河店	千代田区	改造社書店丸の内国際ビル店	石川県	
いわき市	鹿島ブックセンター	大田区	文教堂書店糀谷店	金沢市	ブックス宮丸金沢南店
相馬市	文芸堂相馬店	世田谷区	田中堂	金沢市	文苑堂示野本店
南相馬市	文芸堂桜井町店	世田谷区	文教堂書店三軒茶屋店	金沢市	Booksふかざわエル店
茨城県		世田谷区	文教堂書店経堂店	金沢市	うつのみや金沢百番街店
水戸市	文教堂水戸店	世田谷区	成城堂	野々市町	うつのみや金沢工大前店
潮来市	文教堂書店潮来店	板橋区	文教堂成増店	福井県	
古河市	文教堂書店総和店	国分寺市	三成堂書店国分寺店	大野市	カドヤ書店
つくば市	Wonder Goo新筑波店	神奈川県		静岡県	
栃木県		茅ヶ崎市	長谷川書店ネスパ店	駿東郡長泉町	文教堂書店長泉店
黒磯市	あすなろ書店	横浜市	文教堂書店横浜北山田店	伊豆の国市	文教堂書店大仁店
足利市	岩下書店	川崎市	文教堂書店溝ノ口駅前店	島田市	サンライズ六合店
宇都宮市	いけだ書店宇都宮インターパーク店	鎌倉市	文教堂書店大船モール店	袋井市	サンライズ袋井店
宇都宮市	いけだ書店宇都宮店	鎌倉市	邦栄堂	焼津市	夢屋書店焼津店
今市市	文教堂書店今市店	新潟県		浜松市	安間書店
群馬県		上越市	ブックトピアコスモス	浜松市	イケヤ高林店
高崎市	換乎堂群馬町店	長岡市	文信堂長岡店	愛知県	
高崎市	くまごわ書店高崎店	加茂市	番場堂書店	安城市	竹内書店
高崎市	戸田書店高崎店	南魚沼市	せき書店	名古屋市東区	正文館書店

2011年〔歴史書ベストフェア〕出品／参加書店一覧

名古屋市	文京堂書店	奈良県		広島市	フタバ図書館MEGA店
一宮市	カルコス一宮店	奈良市	豊住書店	島根県	
小牧市	カルコス小牧店	奈良市	たつみ書店サントウン店	浜田市	吉田屋書店
知多郡東浦町	ザ・リブレット東浦	奈良市	啓林堂書店西大寺店		香川県
名古屋市	ザ・リブレット熱田	奈良市	啓林堂書店奈良ビブレ店	高松市	宮脇本店
一宮市	ザ・リブレット一宮店		和歌山県	高松市	宮脇書店総本店
名古屋市	ザ・リブレット千種店	橋本市	ソモリ西武店		徳島県
名古屋市	ザ・リブレット太閤店	田辺市	多屋孫書店	徳島市	附家書店国府店
	岐阜県		大阪府	徳島市	小山助学館本店
中津川市	矢野書店	大阪市	ジュンク堂梅田	徳島市	井関
中津川市	梅村書店	大阪市	西坂書店	板野郡	附家書店松茂店
可見市	正文館書店可見広見店	大阪市	喜久屋書店阿倍野店		愛媛県
岐阜市	本店カルコス	茨木市	ロサヴィア虎谷	松山市	明屋書店石井店
各務原市	カルコス各務原店	茨木市	ナカニヤ書店大門大学書部	松山市	明屋大街道店
瑞穂市	カルコス穂積	枚方市	呼文堂枚方市駅店	松山市	明屋書店空港通り店
本巣市	リブレット岐阜	東大阪市	栗林書房本店	松山市	明屋書店メガ平田店
	三重県		兵庫県	新居浜市	明屋書店MEGA西の土居店
津市	青山書店	加古川市	宮脇書店加古川店	今治市	明屋書店今治本店
伊勢市	宮脇書店伊勢店	揖保郡太子町	うかいや書店太子南店	西条市	明屋書店西条福武店
四日市市	宮脇書店パワーステイ四日市店	加西市	西村書店		高知県
名張市	ブックスアルデ	赤穂市	赤穂書房	高知市	金高堂朝倉B・C
鈴鹿市	宮脇書店鈴鹿店	姫路市	大塚書店		福岡県
	滋賀県	姫路市	黒田書店	北九州市門司	グランデ金山堂
彦根市	太田書店	姫路市	宮本書店	福岡市中央区	りーぶる天神
彦根市	サンミュージック彦根店		岡山県		大分県
草津市	平柿A・SQ	岡山市	宮脇書店平島店	別府市	明林堂別府本店
湖南市	山本書店	岡山市	紀伊國屋クレド	別府市	明林堂青山店
高島市	玉垣芳文堂	岡山市	大真屋書店新保店		宮崎県
	京都府	笠岡市	宮脇書店新笠岡店	都城市	田中書店妻ヶ丘本店
京都市	葵書房	倉敷市	宮脇書店マルナカ今城玉島店	都城市	田中書店川東店
京都市	葵書房洛西店	高梁市	開進堂高梁店	都城市	田中書店イノベーションビル駅前店
京都市	BP文苑山科店	総社市	荒木書店		沖縄県
福知山市	蔦屋AVIX福知山店		広島県	豊見城市	戸田書店豊見城店
相楽郡精華町	アカデミアけいはんな店	福山市	啓文社福山西		
亀岡市	宮脇書店亀岡サテイ店	安芸郡	フタバTERA		

歴史書懇話会とは

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在16社が加盟しています。結成以来40年余「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目標達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う。」(会規約)の精神に基づき活動しています。

＜歴史書懇話会＞の主な事業

「歴史書通信」(隔月刊)最新の歴史書情報を提供しています!

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購入を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

「歴史書ベストフェア」小規模書店にも本格派の歴史書を!

全国約180書店で会員社の歴史書80冊余を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は190冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

「特設店」全国に22拠点、専門書の充実した品揃えが魅力です!

特設店を設けて、歴史専門図書の店頭展開をはかっています。現在、全国主要都市に22店の特設店があり、一般書店では展示販売できない歴史専門書の店頭販売に協力をお願いします。特設店では多くの新刊・常備品を揃えるとともに、テーマフェア、各社フェアを随時開催しています。

「歴懇リバイバル」毎年秋の復刊書フェアとしてご好評いただいています。

毎年10月に統一復刊・重版事業「歴懇リバイバル」を実施しています。一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、特設店を中心に毎年100店近い書店・大学生協で店頭フェアを展開しています。

「ホームページ」&「メール通信」による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評情報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、特設書店とのリンク、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、「歴史書通信」PDF版などを掲載しています。メール配信のお申込みは<http://www.hozokan.co.jp/tekikon/>からお願いします。

会員社 青木書店・明石書店・校倉書房・学生社・汲古書院・思文閣出版・新人物往来社・東京大学出版会・東京堂出版・刀水書房・同成社・塙書房・法蔵館・ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館

弥生時代の考古学 全九巻 [B5判]

設楽博己・藤尾慎一郎・松木武彦編

予価各五二五〇円

〔近刊〕

③ 多様化する弥生文化

④ 古墳時代への胎動

⑨ 弥生研究のあゆみと行方

〔既刊〕① 弥生文化の輪郭 六三〇〇円、他は各五二五〇円

② 弥生文化誕生

⑤ 食糧の獲得と生産

⑦ 儀礼と権力

⑥ 弥生社会のハードウェア

⑧ 集落からよむ弥生社会

ベトナムの考古・古代学

西村昌也著

B5判・三六八頁・一三六五〇円

ベトナム現地で考古研究に邁進してきた著者が、考古学に古代学などを援用しつつ、旧石器時代から十八世紀頃までのベトナム史を再構築する。

東北アジア古民族植物学と縄文農耕

小畑弘己著

B5判・三二〇頁・一〇五〇〇円

縄文時代の遺跡土壌から出土する植物・土器片等を、実証性の高い古民族学的手法で精緻に分析。朝鮮・中国はじめ東北アジア地域の農耕の実態に迫る。

飛鳥の都市計画

黒崎 直著

四六判・二五六頁・二六二五〇円

古代の首都、飛鳥の都に都市計画はあったのか？ 著者の結論は「あった」。それも複数。綿密な検証によって古代都市の謎を解き明かす。

中世史選書

かせ だの しょう

⑨ 神護寺領柿田荘の研究

海津一朗編

A5判・二七二頁・予価七三三〇円

和歌山県紀ノ川河川敷で発掘された河川堤防跡の調査資料を含め中世荘園柿田荘の全容究明に取り組んだ一五年にわたる学際研究の成果を収録。

〔目次〕Ⅰ 調査・研究編 第一部 文覚井と穴伏川井堰秩序
Ⅱ 第二部 荘園調査による景観復元と文覚井／第三部 石造堤防遺跡と紀ノ川井堰等遺跡／(Ⅱ) 史料編 史料翻刻文治柿田取帳／柿田荘遺跡通称地名分布図ほか

⑧ 中世後期の在地社会と荘園制

福岡紀子著

A5判・三二〇頁・七三三〇円

⑦ 戦国期の流通と地域社会

鈴木敦子著

A5判・三五〇頁・八四〇〇円

文字・文・ことばの近代化

菅野則子著

四六判・二二〇頁・一九九五円

明治以降の文体・言葉は社会変化に伴いどのように変わったのか。様々な角度から近代化の側面に迫る。

蘇我氏とは何か

前田晴人著

四六判・二二〇頁・二二〇〇円

日本書紀で逆賊とされた蘇我本宗家の王権侵奪に迫る立場と、王統護持的側面の、矛盾した実態に迫る。

遺跡と観光 市民の考古学⑨

澤村 明著

四六判・一六〇頁・予価二二〇〇円

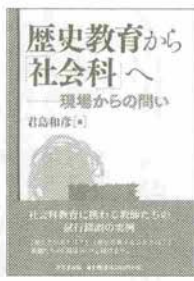
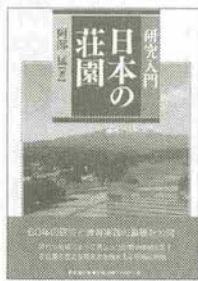
同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税抜き)
TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
http://homepage3.nifty.com/douseisha E-mail:douseisha@nifty.com



限りなく広がる知識の世界

辞典800点突破!



浄土教の事典
阿部 猛著 第一部では、浄土教の教えや思想の意義を明らかにするために他の宗教や宗派の思想との比較を通して浄土教を理解できるように解説。浄土三部経、各国の浄土教の歴史、関連用語、浄土教建築などを解説。 四六判 四〇八頁 三四六五円

研究入門 日本の莊園
阿部 猛著 第一部では、莊園の歴史を概観する。第二部では第一部の史料用語・学術用語などを補注し、史料・文献を掲げて詳細に解説した。莊園研究の「手引き」となるように内容を構成した入門概説書。 A5判 二〇四頁 二六二五円

歴史教育から「社会科」へ
君島和彦編 歴史教育、社会科教育などの教育現場で試行錯誤しながら授業の実践をしている教員たちの抱える諸問題を提起し、その論文や報告書十七を紹介する。将来の社会科教育の手がかりともなる一冊。 A5判 二九四頁 二六二五円

交響する古代
一 東アジアの中の日本
石川日出志・日向一雅・吉村武彦編 歴史学・考古学・文学の領域を視座に入れて新たな古代学を構築するために、日本の古代史を学際的、国際的にとらえるべく、さまざまなテーマで取り組んだ論文を収録。 菊判 四七〇頁 七八七五円

(価格税込)

<http://www.tokyodoshuppan.com>

東京堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17
電話03-3233-3741 FAX03-3233-3746

次回
記本

全101巻・現在第1期51巻 続々刊行・好評です

この1冊から始まる世界史への道

新しい時代の新しい歴史1001冊 [内容見本呈]

世界史の鏡

樺山紘一編
四六並製 二六〇頁 各¥二六八〇

歴史家たちのユートピアへ―国際歴史学会議の百年

樺山紘一著 〇巻 ◆歴史家の苦悩と喜びを振り返る

ハイチの栄光と苦難―世界初の黒人共和国の行方

浜忠雄著 地域6 ◆独立後200年の危機。ハイチから見た世界史

イタリア都市の諸相―都市は歴史を語る

野口昌夫著 都市4 ◆歴史が層になって見える都市

本を読むデモクラシー―読者大衆の出現

宮下志朗著 情報3 ◆日仏庶民の読書初めはいつか?

ナイール―地域をつむぐ川

加藤博著 地域7 ◆文明の十字路／人種と民族のつぼ

イブラヒム、日本への旅―ロシア・オスマン帝国・日本

小松久男著 地域10 ◆アジア主義者との深い絆

中国明末のメディア革命―庶民が本を読む

大木康著 情報4 ◆500年前の輸入り小説大流行

ジハードの町タルスース―イスラーム世界と

太田敏子著 都市3 ◆聖戦のための前線基地

森と川―歴史を調ず自然の恵み

池上俊一著 環境9 ◆ヨーロッパ中世の人と自然 新しし環境史

イギリス発見の旅―学者と女性と観光客

指昭博著 情報6 ◆イギリス人の「お国意識」誕生を探る

農業と遊牧の交わる都 北京

妹尾達彦著 環境2 ◆ユーラシア大陸全体を俯瞰して北京を語る

4月～5月の予定

好評発売中

3月新刊

生まれる歴史、創られる歴史

アジア・アフリカ史研究の最前線から
永原陽子編 アジア・アフリカの様々な地域において、「歴史」は
如何に描かれてきたか
A5上製 二四〇頁 ¥三〇四五

百年戦争

中世末期の英仏関係 (刀水歴史全書80)
城戸毅著
四六上製 三三〇頁 ¥三二一五〇

階級という言語

イングランド労働者階級の政治社会史
G・ステッドマン・ジョーンズ著／長谷川貴彦訳 (人間科学叢書44)
一八三二―一九八二年
イギリスのニエレフト史学において、トマソンの「イングランド労働者階級の形成」とならぶ記念碑的著作。歴史学における言語論的転回の象徴
A5上製 三三〇頁 ¥四七二五

中世イスラーム国家の財政と奇進

後期マムルーク朝の研究
五十嵐大介著
マムルーク朝史の全体像を問い直す新研究
A5箱 三五〇頁 ¥七三三〇

建国初期アメリカ財政史の研究

モリス財政政策から
ハミルトン体制へ
松本幸男著
A5箱 三四〇頁 ¥六九三〇

ヨーロッパの北の海

北海・バルト海の歴史
D・カービー、M.L・ヒンカネン著／玉木俊明他訳
北海・バルト海の古代から現代まで、文化・社会・経済・政治のすべて
A5上製 四三〇頁 ¥六三〇〇

ギリシアの古代

歴史を学ぶ (刀水歴史全書81)
R・オズボン著／佐藤昇訳
四六上製 二七〇頁 ¥二九四〇

人種差別の世界史

白人性とは何か?
藤川隆男著
刀水歴史全書82

時代と共に変化する人間社会、白人性の概念、差別意識。身近な処から世界へ
四六上製 二七〇頁 ¥二四一五

【価格は税込】
〒101-0065 千代田区西神田2-4-1
東方学会本館

刀水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234
http://www.toushishobou.com

後白河院 一王の歌一

五味文彦 著 四六判 272頁 1890円

保元・平治の乱から源平合戦までの激動の三十数年間にわたり君臨した異色の王、後白河院。その実像を、院が愛した今様を通して解き明かす。

おかげさまで累計65万部! 第4弾は「倫理」

もういちど読む山川 倫理

小寺聡 編

高校の倫理教科書を、一般読者のために書き改めた社会人のための教科書。人物紹介、コラム、資料を駆使して理解を助ける。A5判 292頁 1575円

もういちど読む山川 日本史／世界史／政治経済

各1575円 好評発売中

レンズが撮らえた 幕末の日本

岩下哲典／塚越俊志 著

菊5判 並製カバー装 208頁(多色刷) 1680円

幕末の動乱期に活躍した人びとや当時の町並み、街道の風情、そして庶民の生活など、レンズを通して切り取った貴重な一瞬の歴史を再現する。

レンズが撮らえた

19世紀ヨーロッパ

海野弘ほか 著

貴重写真に見る激動と創造の時代

菊5判 並製カバー装 208頁(多色刷) 1680円

1851～1918年、現代につながるさまざまな産業技術や芸術が相次いで登場した時代のヨーロッパを、貴重な古写真とともに堪能する。

〈物語の舞台を歩く〉

能 大和の世界

松岡心平 著 四六判 208頁+カラー口絵16頁 1890円 5月発売予定
晩年の世阿弥が記した「井筒」「当麻」「野守」などの能は、いずれも大和(奈良)の地を舞台とした作品。その傾向は息子らにも影響し、結果、多くの大和物の能作を残すに至る。大和物能作の奥深い世界を紹介する。

山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 税込
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp/>

京を支配する山法師たち

下坂 守善

中世延暦寺の富と力

2835円 ● 4月の新刊

白河上皇に「三不如意」の一つといわれた「山法師」の歌詠。延暦寺が、中世的權力として力と富を持ち得たのはなぜか。室町幕府に政治改革を迫り、戦乱を生き抜いた寺僧たちの姿から世俗権力延暦寺の実態を解き明かす。

華族史料研究会編

華族史料研究会編

2940円 ● 4月の新刊

女子学習院での教育、人力車の送り迎え、別荘での避暑、お国人入り、華麗な緑威、家存続のための婚姻、関東大震災、二二六事件、戦争…。四人の女性が在りし日の華族の生活を語る。追憶の中から激動の時代が浮かび上がる。

民俗学とは何か

柳田・折口・吉沢に学び直す
新谷尚紀著
フォークロアでも文化人類学でもない。「もう一つの歴史学」としての可能性を探る。新たな「民俗学」再入門。
1995円 ● 4月の新刊

歴史文化ライブラリー

317 〈日本美術〉の発見

岡倉天心が
めざしたもの
吉田千鶴子著
1785円 ● 3月の新刊

夫れ美術は國の精華なり。「美術」の國・日本の将来のため、古物保存に立ち上がった人々の物語。

318 四国遍路

さまざまな祈りの世界
星野宏紀著
浅川泰宏著

四国八十八カ所の寺院を巡る四国遍路。平安時代の起源から平成遍路ブームまで、「おへんろさん」の魅力に迫る！
1785円 ● 3月の新刊

319 古墳

古墳はなぜ全長100メートルを超える巨大な墳墓を構築したのか？古墳に込められた古代人のメッセージを探る。
1785円 ● 4月の新刊

320 江戸の寺社めぐり

鎌倉・江戸島、原一厚子著
お伊勢さん
1785円 ● 4月の新刊

ご利益・名所見物・グルメ・お土産…。楽しみいっぱい、されど命がけ。江戸時代の旅の実態。

歴史の旅

生品神社・長楽寺・金山城、足利学校・護国寺…。詳細な地図と豊富な写真を取めた、歴史散歩のガイドブック。詳細

太平記の里

1995円 ● 3月の新刊
峰岸純夫著

新田・足利を歩く



この関係 日本内外
全7巻刊行中
典義編輯 荒野泰典
石井正典 荒野泰典
村井章 石井正典
階級帝國の香境で再編される東アジア
世界・徳国から日本へ、律令國家の建
設と日本外交 6300円 ● 4月の新刊

現代語訳 吾妻鏡

10 御成敗式目
2600円 ● 4月の新刊
(第10回) 日本最初の武家法典の制定、評定衆による合議制の確立。幕府の黄金時代、到来。

古墳時代の王権構造

下村志著 1995円 ● 3月の新刊

平城宮大極殿院の設計思想

内田和伸著 1680円 ● 3月の新刊

中世朝廷の官司制度

遠藤珠記著 1365円 ● 4月の新刊

中世社会の刑罰と法観念

渡邊 俊著 10500円 ● 4月の新刊

戦国史研究 第61号

戦国史研究会編集 700円 ● 3月の新刊

日本史年表・地図

児玉幸多編 1365円 ● 3月の新刊

世界史年表・地図

亀井・三上・林・堀米編 1470円 ● 3月の新刊

日本の食文化史年表

江原純子 東四柳祥子
特集・採集からレトルト食品・外食産業まで。日本人の「食」のすべてがわかる楽しい年表。便利・詳細な索引付。5200円 ● 4月の新刊



吉川弘文館

〒113-0033・東京都文京区本郷7-2-8
電話 03-3813-9151 (価格は税込)
http://www.yoshikawa-k.co.jp/

歴史書懇話会

会員社名簿

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12 (板橋営業所) <担当者・古川 清>
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 <担当者・矢澤伊作>
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 <担当者・石田 亘>
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14 <担当者・林 義則>
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 柏書房 113-0021 文京区本駒込1-13-14 <休会>
TEL. 03-3947-8251 FAX. 03-3947-8255
- 汲古書院 102-0072 千代田区飯田橋2-5-4 <担当者・宮崎 淳>
TEL. 03-3265-9764 FAX. 03-3222-1845
- 思文閣出版 606-8203 京都市左京区田中閏田町2-7 <担当者・井熊勇介>
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 新人物往来社 102-0083 千代田区麴町3-2相互麴町第一ビル<担当者・豊田達也>
TEL. 03-3221-6031 FAX. 03-3221-6641
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内) <担当者・角田光隆>
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 <担当者・馬場辰也>
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 <担当者・中村文江>
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 <担当者・吉田幸一>
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 <担当者・大和定幸>
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 <担当者・西村明高>
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 101-0054 千代田区神田錦町3-6 石澤ビル3F <担当者・須藤 圭>
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 <担当者・西田 智>
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 <担当者・横井真木雄>
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2011年5月1日発行・第195号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店